

子ども・子育て支援事業計画の実施状況について

《表について》

- ①必要量（当初計画値）・・・第四次箕面市子どもプラン策定時の各年度における必要量
 ②必要量（実績）・・・各年度に実際に必要だったサービス量（R6は見込値）
 ③提供量（実績）・・・各年度のサービス提供量の実績（R6は見込値）

◆就学前保育・教育サービスの必要量・提供量について [プランP60～]
 （実施基準日：各年4月1日）

(1) 保育を必要とする0歳児

(単位：人)

		R2	R3	R4	R5	R6（見込）
①必要量（当初計画値）		180	180	181	181	181
②必要量（実績値）		143	182	169	167	
③確保方策（提供量） （実績値）	保育所	161	166	157	164	
	認定こども園	6	6	9	11	
	地域型保育事業	20	28	29	17	
	合計	187	200	195	192	
過不足（量）（③－②）		44	18	26	25	

(2) 保育を必要とする1・2歳児

(単位：人)

		R2	R3	R4	R5	R6（見込）
①必要量（当初計画値）		1,185	1,220	1,257	1,292	1,327
②必要量（実績値）		1,057	1,024	1,058	1,120	
③確保方策（提供量） （実績値）	保育所	931	929	936	938	
	認定こども園	70	57	51	64	
	地域型保育事業	109	112	123	127	
	合計	1,110	1,098	1,110	1,129	
過不足（量）（③－②）		53	74	52	9	

(3) 保育のみを必要とする3～5歳児

(単位：人)

		R2	R3	R4	R5	R6（見込）
①必要量（当初計画値）		1,551	1,609	1,655	1,705	1,768
②必要量（実績値）		1,447	1,543	1,637	1,659	
③確保方策（提供量） （実績値）	保育所・認定こども園	1,579	1,653	1,688	1,668	
過不足（量）（③－②）		132	110	51	9	

●保育を必要とする0～5歳児（（１）～（３））合計

（単位：人）

	R2	R3	R4	R5	R6（見込）
①必要量（当初計画値）	2,916	3,009	3,093	3,178	3,276
②必要量（実績値）	2,647	2,749	2,864	2,946	
③確保方策（提供量） （実績値）	2,876	2,951	2,993	2,989	
過不足（量）（③－②）	229	202	129	43	
実 績					
◆コロナ禍の影響も含めた出生率の低下や育児休業からの復帰控えなどにより、保育ニーズの見極めが困難であり、施設の整備は慎重に進めた。 ◆新たな保育士確保対策や既存の保育士確保対策の対象者拡大を進めた。 ◆令和３年度 ・事業所内保育施設１園（１９人定員）を開設（令和３年４月１日開設） ・保育所等の事業者が保育士の住居として市内で借り上げた賃貸物件の家賃に対する補助制度を開始 ◆令和４年度 ・事業所内保育施設１園（１２人定員）を開設（令和４年８月１日開設） ・賃貸物件の家賃に対する補助制度について、市外で借り上げた賃貸物件も対象とするよう制度を拡大 ◆令和５年度 ・小規模保育事業所１園（１９人定員）を、保育所（４０人定員）へ移行（令和５年４月１日移行） ◆令和６年度 ・保育所１園（１００人定員）を開設（令和６年４月１日開設予定）					
方向性・課題					
◆今後の就学前児童の減少を勘案し、新たな保育施設整備にとらわれず、既存の保育施設での定員確保も重要としている。保育士確保を図り、既存の施設においてニーズに応じた定員の拡大を図る。					

(4) 保育及び幼児教育を希望する3～5歳児

(単位：人)

	R2	R3	R4	R5	R6 (見込)
①必要量 (当初計画値)	456	461	464	467	475
②必要量 (実績値)	504	501	559	599	
③確保方策 (提供量) (実績値)	認定こども園	188	166	201	216
	私立幼稚園	251	251	260	281
	認可外	65	84	98	102
	合計	504	501	559	599
過不足 (量) (③-②)	0	0	0	0	

(5) 幼児教育のみを希望する3～5歳児

(単位：人)

	R2	R3	R4	R5	R6 (見込)
①必要量 (当初計画値)	2,081	1,901	1,754	1,600	1,485
②必要量 (実績値)	1,977	1,815	1,651	1,466	
③確保方策 (提供量) (実績値)	私立幼稚園	885	759	669	569
	認定こども園	931	897	848	798
	市立幼稚園	161	159	134	99
	合計	1,977	1,815	1,651	1,466
過不足 (量) (③-②)	0	0	0	0	

●幼児教育を希望する3～5歳児 ((4)～(5) 合計)

(単位：人)

	R2	R3	R4	R5	R6 (見込)
①必要量 (当初計画値)	2,537	2,362	2,218	2,067	1,960
②必要量 (実績値)	2,481	2,316	2,210	2,065	
③確保方策 (提供量) (実績値)	2,481	2,316	2,210	2,065	
過不足 (量) (③-②)	0	0	0	0	

実 績

◆幼児教育のみを希望するものは減少しているが、保育および幼児教育の双方を必要とする児童は増加傾向にある。

方向性・課題

◆幼稚園・認定こども園については、幼児教育のみのニーズが減少している。今後子育て世帯の選択肢の一つとして、幼稚園・認定こども園の預かり保育や認定こども園（保育園コース）など、ニーズに応じた定員設定を促していく。

◆地域子ども・子育て支援事業の必要量・提供量について [プランP67～]

(1) 時間外保育事業（保育所等の延長保育）

(単位：人)

基準日：各年4月1日

		R2	R3	R4	R5	R6（見込）
①必要量（当初計画値）		1,252	1,236	1,214	1,200	1,188
②必要量（実績値）		1,139	1,237	1,092	1,092	
③確保方策（提供量） （実績値）	保育所	904	1,025	917	917	
	認定こども園	213	183	120	120	
	地域型保育事業	22	29	55	55	
	合計	1,139	1,237	1,092	1,092	
過不足（量）（③－②）		0	0	0	0	
実績						
◆令和2年度：公立保育所4園、民間保育所23園、認定こども園4園、地域型保育事業所6園で実施。 ◆令和3年度：公立保育所4園、民間保育所23園、認定こども園5園、地域型保育事業所7園で実施。 ◆令和4年度：公立保育所4園、民間保育所23園、認定こども園4園、地域型保育事業所8園で実施。						
方向性・課題						
◆保護者の働き方が多様化してきていることから、新規・既存園での保育時間の延長に向けて、補助金の加算等政策誘導をかけていく必要がある。						

(2) 放課後児童健全育成事業（学童保育）

(単位：人)

基準日：各年4月1日

		R2	R3	R4	R5	R6（見込）
①必要量（当初計画値）	1年	563	623	682	697	720
	2年	438	479	531	581	593
	3年	359	356	390	431	472
	4年	226	241	239	262	290
	5年	106	116	124	122	134
	6年	59	60	65	70	69
	合計	1,751	1,875	2,031	2,163	2,278
②必要量（実績値）	1年	539	550	573	605	
	2年	420	460	468	519	
	3年	341	331	386	376	
	4年	211	222	199	259	
	5年	101	91	125	101	
	6年	57	47	34	58	
	合計	1,669	1,701	1,785	1,918	
③確保方策（提供量） （実績値）	合計	1,755	1,875	1,875	1,997	
過不足（量）（③－②）		86	174	90	79	
実績						
◆学童保育利用児童の増加に伴い、保育室の整備を行った。 ※令和2年度実施校：西南小 ※令和3年度実施校：止々呂美小、萱野、北 ※令和5年度実施校：箕面小、萱野東小、中小						
方向性・課題						
◆学校毎の児童数の推計から、学童保育利用児童数見込みを策定し、年度当初に待機児童が発生しないよう、計画的な保育室の整備を進める。						

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

（単位：人日）

基準日：各年度末

	R2	R3	R4	R5（見込）	R6（見込）
①必要量（当初計画値）	21	20	20	20	20
②必要量（実績値）	28	6	14	20	
③確保方策（提供量） （実績値）	28	6	14	20	
過不足（量）（③－②）	0	0	0	0	
実 績					
◆短期入所生活援助のみ実施（主な利用例：養育者が病気、入院等の場合）。夜間養護は利用がなかった。 ◆利用可能施設数：5施設 ◆令和2年度 ・1施設×2人×14日＝28人日 ◆令和3年度 ・1施設×1人×2日＋1施設×1人×4日＝6人日 ◆令和4年度 ・1施設×1人×1日＋1施設×1人×3日＋1施設×1人×2日＋1施設×2人×2日＋1施設×1人×2日＋1施設×1人×2日＝14人日 ◆令和5年度（11月末まで） ・1施設×1人×3日＋1施設×1人×2日＋1施設×1人×2日＋1施設×1人×2日＋1施設×1人×2日＝11人日					
方向性・課題					
◆引き続き、当該サービスが必要な世帯に対し、個々の状況に応じた適切なサービス提供を図る。					

(4) 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）

（単位：人日）

基準日：各年度末

	R2	R3	R4	R5（見込）	R6（見込）
①必要量（当初計画値）	12,370	12,155	11,958	11,644	11,330
②必要量（実績値）	8,852	8,255	9,514	10,123	
③確保方策（提供量） （実績値）	地域子育て支援拠点 8,852	8,255	9,514	10,123	
過不足（量）（③－②）	0	0	0	0	
実 績					
◆3ヶ所の子育て支援センターでプレイルールの開放を行い、主に未就園児の親子が自由に遊び、子育て仲間と交流できる場の提供を行った。 ◆親支援プログラムや集団援助プログラムを年間を通して実施するとともに、電話や支援センターなどでの育児相談を実施した。 ◆出張子育てひろば実施状況 （子育て支援センターの保育士等が地域に出向いて遊びと交流の場を提供する事業） ・令和2年度：131回実施、延べ参加組数は1,387組 ・令和3年度：134回実施、延べ参加組数は1,283組 ・令和4年度：165回実施、延べ参加組数は1,850組 ・令和5年度（11月まで）：116回実施、延べ参加組数は1,496組					
方向性・課題					
◆拠点にとどまらず、地域に出向いて遊びと交流の場を提供する「出張子育てひろば」や「お外で遊ぼう」のプログラムを強化する。 ◆低年齢からの保育所や幼稚園の入園児が多く、利用者が低年齢化（0歳、1歳）している。未就学児まで利用できる事を知らせていき、利用に繋げていきたい。保護者が子育て仲間に出会い、「楽しかった」「また来たい」と思える交流の場を作っていく。開催日や時間の周知方法を検討していく。					

(5) 一時預かり事業

①1号認定（幼稚園）利用

（単位：人日）

基準日：各年度末

		R2	R3	R4	R5（見込）	R6（見込）
①必要量（当初計画値）		26,288	24,010	22,153	20,625	19,653
②必要量（実績値）		20,365	19,585	26,501	26,501	
③確保方策（提供量） （実績値）	私立幼稚園（預かり有）	0	0	0	0	
	私立幼稚園（預かり無）	0	0	0	0	
	認定こども園	20,365	19,585	26,501	26,501	
	合計	20,365	19,585	26,501	26,501	
過不足（量）（③－②）		0	0	0	0	
実 績						
◆令和2年度実施園数（市外園含む）・・・30園						
◆令和3年度実施園数（市外園含む）・・・29園						
◆令和4年度実施園数（市外園含む）・・・29園						
◆令和5年度実施園数見込み（市外園含む）・・・30園						
方向性・課題						
◆継続実施						

②施設等利用給付認定（幼稚園）利用

（単位：人日）

基準日：各年度末

		R2	R3	R4	R5（見込）	R6（見込）
①必要量（当初計画値）		69,498	69,930	68,750	70,730	71,660
②必要量（実績値）		43,914	54,009	58,687	58,687	
③確保方策（提供量） （実績値）	私立幼稚園（預かり有）	27,725	35,682	36,971	36,971	
	認定こども園	16,189	18,327	21,716	21,716	
	合計	43,914	54,009	58,687	58,687	
過不足（量）（③－②）		0	0	0	0	
実 績						
◆令和2年度実施園数（市外園含む） ・新制度幼稚園、認定こども園19園 ・私立幼稚園29園						
◆令和3年度実施園数（市外園含む） ・新制度幼稚園、認定こども園26園 ・私立幼稚園21園						
◆令和4年度実施園数（市外園含む） ・新制度幼稚園、認定こども園20園 ・私立幼稚園24園						
◆令和5年度実施園数見込み（市外園含む） ・新制度幼稚園、認定こども園19園 ・私立幼稚園26園						
方向性・課題						
◆継続実施						

③①～②以外（在宅）利用

（単位：人日）

基準日：各年度末

		R2	R3	R4	R5（見込）	R6（見込）
①必要量（当初計画値）		9,930	9,800	9,645	9,510	9,425
②必要量（実績値）		8,010	10,179	9,461	8,417	
③確保方策（提供量） （実績値）	保育所	6,144	7,766	6,916	5,920	
	認定こども園	346	417	415	355	
	地域型保育事業	0	252	220	242	
	ファミリー・サポート他	1,520	1,744	1,910	1,900	
	合計	8,010	10,179	9,461	8,417	
過不足（量）（③－②）		0	0	0	0	
実 績						
◆市内の民間保育園、認定こども園のうち9カ所で実施。 ◆ファミリー・サポート事業における一時預かり ・令和2年度：767件 ・令和3年度：729件 ・令和4年度：723件 ・令和5年度（11月まで）：409件 ◆ちよこっと保育（時間単位で利用が可能な一時預かり事業） ・令和2年度：211日開所、延べ利用者数は753人 ・令和3年度：239日開所、延べ利用者数は1,015人 ・令和4年度：243日開所、延べ利用者数は1,187人 ・令和5年度（11月まで）：164日開所、延べ利用者数は616人						
方向性・課題						
◆継続実施						

（6）病児保育事業

（単位：人日）

基準日：各年度末

		R2	R3	R4	R5（見込）	R6（見込）
①必要量（当初計画値）		1,420	1,730	1,850	2,050	2,250
②必要量（実績値）		76	107	467	797	
③確保方策（提供量） （実績値）	病児保育	14	11	373	699	
	病後児保育	62	96	94	98	
	合計	76	107	467	797	
過不足（量）（③－②）		0	0	0	0	
実 績						
◆平成30年度（9月）から市立保育所（萱野）において、病児保育を実施。 ◆従来より市立保育所3所（萱野、桜ヶ丘、東）において、病後児保育を実施。 ◆令和4年4月に小児科に併設した民間の病児保育室を開設。 ◆なお、上記実績値には含まれていないが、市立保育所に加えて、平成28年度からは市内の民間保育園や認定こども園でも体調不良児対応型保育を実施しており、令和4年度末時点では、合わせて17園所が体調不良児対応型保育を実施している。 ※体調不良児対応型保育…保育中に児童が体調不良となった場合、保護者が迎えに来るまでの間、看護師が対応すること。						
方向性・課題						
◆大規模な感染症等が発生したときの運営など、病児・病後児保育の運営上の課題等について検討し、解決に向け、取り組んでいく。						

(7) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

（単位：人日）

基準日：各年度末

		R2	R3	R4	R5（見込）	R6（見込）
①必要量（当初計画値）	低学年	476	478	469	453	448
	高学年	28	28	27	26	26
	合計	504	506	496	479	474
②必要量（実績値）	合計	550	521	350	479	
③確保方策（提供量） （実績値）	ファミリー・サポート	550	521	350	479	
過不足（量）（③－②）		0	0	0	0	
実 績						
◆会員数 ・令和2年度：依頼会員1,054人、援助会員491人、両方会員141人、合計1,686人 ・令和3年度：依頼会員1,153人、援助会員498人、両方会員146人、合計1,797人 ・令和4年度：依頼会員1,120人、援助会員474人、両方会員134人、合計1,728人 ・令和5年度（11月まで）：依頼会員1,197人、援助会員480人、両方会員137人、合計1,814人 ◆活動件数 ・令和2年度：550件（月平均：約46件） ・令和3年度：521件（月平均：約43件） ・令和4年度：350件（月平均約29件） ・令和5年度（11月まで）：400件（月平均約50件）						
方向性・課題						
◆援助会員及び両方会員の増員を図る。 ◆事業についての利用周知を図る。						

(8) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問）

（単位：人）

基準日：各年度末

		R2	R3	R4	R5（見込）	R6（見込）
①必要量（当初計画値）		1,097	1,097	1,097	1,097	1,097
②必要量（実績値）		502	435	391	387	
③確保方策（提供量） （実績）	こんにちは赤ちゃん訪問(実数)	502	435	391	387	
過不足（量）（③－②）		0	0	0	0	
実 績						
◆出生数の減少により、保育士による「こんにちは赤ちゃん訪問」の件数は減少しているが、保健師・助産師による「未熟児訪問」及び「新生児・産婦訪問」により、生後4か月までの乳児のいる家庭への全戸訪問を実施している。						
方向性・課題						
◆継続実施						

(9) 養育支援訪問事業

(単位：人)

基準日：各年度末

	R2	R3	R4	R5 (見込)	R6 (見込)
①必要量 (当初計画値)	40	40	40	40	40
②必要量 (実績値)	32	25	23	40	
③確保方策 (提供量) (実績値)	養育訪問支援事業(実数)				
	32	25	23	40	
過不足 (量) (③-②)	0	0	0	0	
実 績					
◆出産前後の支援を特に必要とする妊婦、子育てに対し強い不安や孤立感等を抱える養育者、虐待の恐れのある養育者等を対象として、家庭訪問を実施。具体的な育児の技術指導、育児や家事の援助を行った。					
方向性・課題					
◆R6.4月にこども家庭センターを設置することで、母子保健事業との連携をより強化し、特に支援を必要とする家庭の把握に努める必要がある。					

(10) 妊婦健康診査

(単位：人・回)

基準日：各年度末

	R2	R3	R4	R5 (見込)	R6 (見込)
助成対象者数 (実数) (当初計画値)	958	958	958	958	958
助成対象者数 (実数) (実績)	912	909	905	817	
助成回数 (延べ回数) (実績)	10,225	9,762	9,241	9,375	
実 績					
◆妊婦健康診査への公費助成を行い、安心・安全な出産に向け妊婦及び胎児の健康管理が行える体制を確保した。					
方向性・課題					
◆継続実施					

(11) 利用者支援事業 (子育て関連情報の提供・相談窓口)

(単位：箇所)

基準日：各年度末

	R2	R3	R4	R5 (見込)	R6 (見込)
実施施設数 (当初計画値)	2	2	2	2	2
実施施設数 (実績)	2	2	2	2	
実 績					
◆国の指針では、就学前児童1万人あたり1箇所を整備することが目安となっており、本市では少なくとも1箇所の整備が必要となっているが、平成28年度までに以下の2箇所をすでに整備済み。 ◆特定型 (子ども総合窓口) …子育て支援サービスの利用調整や相談を実施した。 ◆母子保健型 (子どもすこやか室窓口) …保健師、助産師による妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談体制の充実を図った。 ◆なお、本事業は子ども・子育て支援新制度で新設された新規事業であるが、同趣旨で従来より地域子育て支援拠点 (子育て支援センター) 3箇所を整備済み。(上記には含まない)					
方向性・課題					
◆継続実施 ◆相談体制の更なる充実					